

令和6年5月19日

# 小田原市長選挙

小田原市選挙管理委員会

執

行

# 選挙公報

## この流れを止めるな！ 身を切る改革、次期退職金2000万円“辞退”



無所属

自民党・国民民主党・日本維新の会・連合神奈川 推薦

# 守屋てるひろ

<b>持続可能な輝くまちづくり</b>	<b>守り輝くまちづくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通機能確保</li> <li>●世代を超えた地域の居場所づくり</li> <li>●効率的な地域運営体制</li> <li>●やりたくなる農業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者が輝くまち</li> <li>●美食のまちづくり</li> <li>●海を活かしたまちづくり</li> <li>●御殿場線沿線活性化</li> <li>●スポーツ施設再整備</li> <li>●街区公園再整備</li> </ul>
<b>歴史文化を守る</b>	<b>子どもを守る</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●小田原城、一夜城、大手門</li> <li>●歴史的建造物の利活用</li> <li>●伝統・文化・民族芸能の継承</li> <li>●豊かな環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出産・子育て支援</li> <li>●教育費用保護者負担軽減</li> <li>●新しい学校づくり</li> <li>●国際的人材育成</li> </ul>
<b>安心して暮らせる輝くまちづくり</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療ネットワーク</li> <li>●地域共生社会</li> <li>●健康寿命延伸</li> <li>●災害対応力強化</li> <li>●高齢者・障がい者</li> </ul>	
<b>稼ぐまちづくり (地域経済の好循環と財源確保)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業誘致</li> <li>●スタートアップ支援</li> <li>●ふるさと納税</li> <li>●観光誘客</li> <li>●国県交付金獲得</li> <li>●海外展開</li> </ul>	



**PROFILE** 1966年(昭和41年)11月9日小田原に生まれる。神奈川県立小田原高校卒業。東京電機大学建築学科卒業。東京大学大学院修了(都市工学専攻)。1992年(平成4年)神奈川県庁入庁。2010年(平成22年)神奈川県庁18年勤め退職。2011年(平成23年)神奈川県議会議員2期8年。2020年(令和2年)～現在 小田原市長を務める。

## 誰もが笑顔で暮らせる愛すべきふるさと

誠実、信頼  
そして、希望

外より“内”、国より“あなた”を見る政策を

### 約束1 いのちが最優先

子育て、教育、若者、高齢者や障がい者への支援…、いのちへの“寄り添い”と“アシスト”こそ、行政の最重要ミッション。分限を越えた大型事業や不要不急のイベントよりも、市民一人ひとりの“いのち”を大切にします。

### 約束2 外向けよりも内なる安心を

小田原の自然・人・地域・産業・文化が宿す“力”を引き出せば、課題解決が進み、経済は活気を増して市民の誇りは大いに高まります。市外の力に頼るのではなく、市民・地域・企業の“おだわら力”を活かすことに全力を注ぎます。

### 約束3 地域自給圏の創造

物価の高騰が続いています。安全な食、再生可能エネルギー、家づくりの材と技、暮らしに欠かせないものづくり、ケア、教育、コミュニティなど、生活に不可欠な土台を地域で連携して整えていきます。

### 約束4 ツケを未来に回さない

一見華やかな再開発。国から補助金が出てもそれは未来からの借金。市の負担分とランニングコストも巨額なものに。子どもたちのために「いるものはいる」「いないものはいない」を徹底します。

### 約束5 市職員に使命感と誇りを

限られた人手で、不安や課題を抱える市民と日々向き合う市職員の本分は、理念や意義の乏しい事業の消化ではなく、市民の痛みに寄り添い、答えを出していくこと。やりがいと誇りを大事にする組織風土の再生は、市民の幸せにつながると信じています。

### 子どもたちへ

- ☑ 紙おむつを無料化
- ☑ 給食費は段階的無料化
- ☑ オーガニック給食へ着手
- ☑ 本格的学校菜園で食農教育
- ☑ 「子ども会議」で主権者教育

### 若者へ

- ☑ 奨学金の返済支援、給付型奨学金の創設
- ☑ 若手世代の学び合い、交流、つながりの場づくり
- ☑ 女性活躍を支える、男性の育休制度の充実
- ☑ 若手事業者、クリエイターの拠点誘致と起業支援
- ☑ 福祉・介護・医療・教育連携しヤングケアラーゼロへ

### シニア世代へ

- ☑ ケアする人の待遇改善
- ☑ 地域交通「いのちのバス」の実現
- ☑ 身寄りのない方のための「終活」支援制度創設
- ☑ キャリアと知識を活かす「アクティブシニアバンク」の充実
- ☑ 商店街支援、「コミュニティカフェ」の応援

昭和型の再開発をやめて  
小田原の資源を活かしきる経済へ

あなたのしんどさを  
「ほっとかない」「ほっとけない」市政へ

地域コミュニティの絆が  
しっかりと結ばれる地域へ

## 小田原の力を信じて、もう一度、立ち上がる



詳しい政策は  
こちらをご覧ください

1964年5月11日生まれ。無所属市民派。2008年～2020年(令和2年)にかけ3期12年小田原市長歴任。退任後は(株)小田原柑橘倶楽部取締役、星槎大学特任教授、神奈川大学・関東学院大学にて非常勤講師、立教大学にて兼任講師。京都大学法学部卒。小田原市城山在住。



# 加藤けんいち

無所属

令和6年5月19日

小田原市長選挙

小田原市選挙管理委員会

執行

## 選挙公報

小田原に住む日本人の暮らしやすい豊かなまちづくり  
減税や情報公開の徹底、不正を防止し無駄のない市政に  
民間の力を生かした地域の活性化と防災の強化



小田原を  
メンテナンス  
(保守)する！

古川とおる

無所属  
64歳

- ・西湘バイパス、小田原厚木道路の無料化、  
国府津IC上り入口改良
- ・太陽光パネルなどを含めた行政の委託や補助金事業の見直し
- ・小田原駅西口再開発のコスト削減と駅前保育施設の設置
- ・不法移民等による治安悪化などへの対策強化
- ・表現の自由を尊重し、歴史を感じさせる町づくり
- ・西湘貨物駅を新駅へ
- ・行政財産の民間の活用強化  
(少年院跡、競輪場など)

- 祖父は小田原文学館に資料展示中の  
芥川賞作家尾崎一雄（文化勲章受章）
- 先祖は小田原市の宗我神社の神主を  
務めている小田原に縁のある人間です。

X: @tooru\_furukawa



## 【プロフィール】

小田原市前川在住  
東海大学工学部工業化学科卒業  
家族：娘二人  
資格：司書、情報処理、ビル管理  
消防設備士、電気工事士  
危険物等の国家資格など  
携帯：080 - 8439 - 4688  
メール：ghf01030@nifty.com

投票日 5月19日(日) 午前7時～午後8時

## 投票についてご注意

- ◇ 投票所には投票所入場整理券をお忘れなくご持参ください。
- ◇ 投票所入場整理券を紛失したとき、または投票所入場整理券がお手元に届かなかつた方は、投票所で係員に申し出てください。

## 投票用紙の書きかた

- ◇ 候補者の氏名は、投票用紙に1人だけ書いてください。
- ◇ 候補者の氏名以外に落書きなどをすると無効となります。
- ◇ 字は、はっきりと書いてください。

## 期日前投票について

## ◇ 場所・時間

- 小田原市役所・川東タウンセンターマロニエ  
期間：5月13日(月)～5月18日(土)  
午前8時30分～午後8時
- 小田原地下街ハルネ小田原  
期間：5月13日(月)～5月18日(土)  
午前10時～午後8時
- 橘タウンセンターこゆるぎ  
期間：5月15日(水)～5月18日(土)  
午前10時～午後8時

## 投票できる資格

- 住所要件……本市の住民基本台帳に令和6年2月11日以前から登録  
(転入等) されていて引き続き投票日まで登録されて  
いる方。
- 年齢要件……平成18年5月20日以前に生まれている方。

## 市内転居された方

- 4月16日までに届出された方は、転居先の住所の投票所で投票して  
いただきます。
- 4月17日以降に届出された方は、転居前の住所の投票所で投票して  
いただきます。

## 市外転出された方

- 他市区町村に転出された方は、投票する資格を失います。

## 問い合わせ先

- ◇ 小田原市選挙管理委員会 ☎ 33-1741
- ◇ 投・開票本部 (投票日当日のみ) ☎ 37-9920
- ◇ 開票速報 小田原市のホームページをご覧ください。  
※ 速報は午後10時から(30分ごと)

投票はわたしの声を届ける第1歩

